

特色ある市独自の教育について

市教育委員会では、グローバル化の急速な進展や技術革新など将来の社会の変化を予測することが困難な時代の中で、子どもたちが、自らの人生を切り拓くために必要な資質・能力を育成するため、令和2年度及び令和3年度の学習指導要領の改訂にあわせ、市独自の教育として以下のとおり取り組んでいる。

（1）外国語教育の推進

- ①国内英語研修（ブリティッシュヒルズ研修）（中学1年生全員対象）
- ②外国語検定（英検）料支援（全中学生が対象（1回/年））
令和2年度から中学3年生を対象に実施。令和4年度は全中学生を対象を拡大
- ③外国語指導助手（ALT）の配置（2校に1名）による、外国語授業の質向上
令和4年度から小高区でフォニックス等の取組みを行うことから、小高小中学校は単独配置
- ④小学校教員の英語研修（ブリティッシュヒルズ）の実施
- ⑤フォニックス学習（令和4年度から小高区をモデルに実施）
※おだか認定こども園、小高小学校においてフォニックス学習の取組みを実施

（2）プログラミング教育の推進

- ①Pepperを使ったプログラミング授業の実施
- ②スクールチャレンジ市大会（Pepperプログラミング大会）の開催
※新型コロナウイルスの影響により令和2年度以降は映像による審査。
- ③市大会の最優秀校はソフトバンクグループ主催の全国大会へ出場
※令和2年度、令和3年度と2年連続で「ネクストチャレンジ賞」を受賞
- ④「あるくメカトロウィーゴ」を使った新たなプログラミング学習の検討
令和4年度から、小高区をモデルに福島ロボットテストフィールド入居企業が開発した教育用2足歩行型小型プログラミングロボット「あるくメカトロウィーゴ」を活用したプログラミング学習を実施。実施状況を踏まえて、全校導入に向けて検討する。